



## 柏崎刈羽原発は「運転禁止」

柏崎刈羽原子力発電所（新潟県）は、7基ある原子炉のうち6号機と7号機の安全審査が終わり、東京電力は再稼働を目指していました。しかし、今年になって、社員が他人のIDカードを使って中央制御室に入ったり、発電所への不正侵入を検知する装置が16ヶ所も故障していたり、と相次いで不祥事が発覚。テロ対策が「最悪レベル」と判断され、今年4月、国の原子力規制庁から事実上の運転禁止命令が出されました。「最悪レベル」の判定が出たのは、日本で初めてです。

福島第一原発事故で経営が悪化し、テロ対



策の費用や人員を大幅に減らしたことが背景にあると言われますが、他人のIDカードを使い、警備員にデータを書き換えさせた行為は、東京電力社員のモラル低下や核物質を扱う自覚すら欠けていたことを示しています。

## 完了してない工事を完了と発表 配管にサビ、火災感知器100台不適切

IDカードの不正使用が発覚した時、東京電力は、完了したと発表していた7号機の安全対策工事が実は終わってなかったことも公表。しかも、その後に総点検したら76ヶ所もの火災防護工事が終わっていなかったことが新たにわかりました。さらに、ずさんな溶接作業によって配管にサビが発生し、1000ヶ所を超える溶接部の調査を迫られたり（通報で発覚）、100台もの火災感知器の配置が不適切だったり（規制委員会の検査官が発見）と設備の不具合が次々に発覚しました。東電に原発を扱う資格などない、と不信感は高まるばかりです。

<裏面に続く>

全造船関東地協労働組合  
よこはまシティユニオン

横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505  
TEL 045-575-1948  
yuniyoko.sakura.ne.jp

## 地震多発の新潟に 7 基もの原子炉 大雪で避難できるのか！

柏崎刈羽原発のある新潟県は、1964 年、2004 年、2007 年とマグニチュード 7 前後の強い地震に襲われました。黒煙をあげて燃える変電設備や、構内にできた大きな段差を覚えている人も多いと思います。地震が多発する新潟で 1 ヶ所に 7 基の原子炉が集中している危険性は、福島第一原発事故の時、1 号機の爆発が 2 ～ 4 号機の事故対応を妨げ、大事故に拡大したことで明らかです。

そして、冬の新潟で、道路が雪でおおわれた時に事故が起きたら、まともに避難できるはずがありません。

## 「設置許可」を取り消せ！ 廃炉でも残る、ぼう大な核のゴミ

原子力規制委員会は、10 月、柏崎刈羽原発のテロ対策不備に関する「追加検査」を開始しました。「自律的な改善が見込める状態」になるまで運転禁止は解除しないとしていますが、東京電力は、隠ぺいや改ざんなどの問題が発覚するたびに幹部が頭をさげ、再発防止を約束するのに、また不祥事が発覚する、ということを繰り返してきました。東京電力に対して行うべきは、再稼働を手助けする「追加検査」ではなく、柏崎刈羽原発の「設置許可」を取り消し、7 基の原子炉全部を廃炉にすることです。途方もない量の核廃棄物が残

されますが、東京電力に原発を運転させるという危険性だけは取り除くことができます。

# STOP！ 柏崎刈羽原発の再稼働

### ■ 故長尾さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオンの組合員だった長尾光明さん（故人）は福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起こしましたが、東電は労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁 2010 年 4 月）。

### ■ 原発で働く労働者と共に

原発は電力会社を元請とした 4 ～ 8 次の下請会社で稼働しています。3.11 以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40 代男性）は 2016 年 11 月 22 日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴し闘っています。ぜひ多くの皆さまのご支援をお願いします。

### ■ 職場の問題、いつでもご相談を！

東日本大震災や原発事故を忘れないため、私たちが毎月 11 日に街頭宣伝活動を始めて 11 年目になります。これからも、何ができるのかを一緒に考えたいと思います。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！